

第19期決算公告

平成22年5月28日
千葉県市川市千鳥町1-4番地2
株式会社サンドテクノ
代表取締役社長 川村 邦雄

貸借対照表

(平成22年3月31日現在)

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
I 流動資産		I 流動負債	
現金預金	281,237	支払手形	126,860
受取手形	95,576	工事未払金	73,477
完成工事未収入金	90,280	その他事業未払金	161,907
売掛金	257,177	未払金	3,266
材料貯蔵品	15,274	未払費用	10,542
未収入金	2,108	未払法人税等	24,291
繰延税金資産	3,416	賞与引当金	2,800
営業外未収金	827	預り金	376
貸倒引当金	△ 2,400	流動負債合計	403,521
流動資産合計	743,498		
II 固定資産		II 固定負債	
1 有形固定資産		役員退職慰労引当金	20,032
建物	5,151	固定負債合計	20,032
構築物	1,758	負債合計	423,553
機械	5,426		
工具器具・備品	683	純資産の部	
有形固定資産合計	13,019	I 株主資本	
2 無形固定資産		1 資本金	70,000
電話加入権	509	2 利益剰余金	
ソフトウェア	1,560	(1) 利益準備金	3,350
無形固定資産合計	2,069	(2) その他利益剰余金	261,689
3 投資その他の資産	5	繰越利益剰余金	261,689
固定資産合計	15,094	利益剰余金合計	265,039
資産合計	758,593	株主資本合計	335,039
		負債・純資産合計	758,593

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項

(1) 資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産の評価基準及び評価方法

(ア) 未成工事支出金及び仕掛品の評価は原価法（個別法）によっている。

(イ) 材料貯蔵品の評価は原価法（先入先出法）によっている。なお、未成工事支出金を除くたな卸資産の貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定している。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産の減価償却の方法は定率法を採用している。但し、平成10年4月1日以降取得の建物(建物附属設備を除く)については定額法によっている。なお耐用年数及び残存価額については法人税法の定めと同一の基準によっている。

(3) 引当金の計上基準

- ① 貸倒引当金は、債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については過年度における貸倒実績率を基礎とし、将来の貸倒見込率を加味した金額により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上している。
- ② 賞与引当金は、従業員賞与の支給に備えるため、支給対象期間基準を基礎とした支給見込額を計上している。
- ③ 役員退職慰労引当金は、役員の退職慰労金の支出に備えるため、役員退職慰労金規定（内規）に基づく期末要支給額を計上している。

(4) 収益及び費用の計上基準

当事業年度末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準(工事の進捗率の見積りは原価比例法)を、その他の工事については工事完成基準を適用している

(5) 消費税等の会計処理は税抜き方式によっている。

2. 当期純損益金額

当期純利益 90,060 千円

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示している。